

平成30年 3月 6日

人吉市議会議長 田中 哲 様

厚生委員会委員長 高瀬 堅一

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第8条第1項の規定により提出します。

| | |
|----------|--|
| 開催日時 | 平成30年1月23日（火）13時30分～14時30分 |
| 会 場 | 市役所仮本庁舎3階 議員控室 |
| 出席議員 | 【委員長】高瀬堅一 【副委員長】永山芳宏 【委員】田中 哲、三倉美千子、井上光浩、塩見寿子（記録者） |
| 団体名 | 人吉市保育園連盟 |
| 参加人数 | 12名 |
| テーマ | 保育園予算と人吉市の現状及び子育てにおける人吉市の展望について |
| 意見交換会の概要 | <p>まず、高瀬厚生委員会委員長、原保育園連盟会長が挨拶を行った。</p> <p>その後、意見交換会と移り、人吉市保育園連盟から国の子ども・子育て支援新制度に関する概算要求の主要政策についてと人吉市の地域子ども・子育て支援事業についての現状についての説明を受けた。</p> <p>説明後、議員から「保育士の育成と地元への就職は」「軽度障害児の保育はどうなっているか」「突発的に病気や熱発になった場合は」など質問があった。</p> <p>これに対し、保育園連盟から「新卒の採用は3、4年に1人。就職は都会でという例が多い」「そういう予備軍の子どもさんは増えている。個別の相談に応じているが、保育士不足。事業所も園も人材不足」「保護者に連絡し迎えに来てもらう。それまでは別室に（保育士を一人つけて）移動させる。ますます人手が足りなくなる。厚労省は保育士の勤続年数を10年と計算しての処遇だから、園では人員を増やす予算はない」と現状の説明があった。</p> <p>さらに、議員から「13事業と14事業の違いは」「アレルギー対策</p> |

は」 「事故防止対策にカメラなどの利用については」との質問があった。

これに対し、保育園連盟からは「13事業を実施すべきなのに、本市では自主事業となっている事業があること」「アレルゲン除去食の要望書を保護者から出してもらって対応している。連盟でも研修している」「防犯カメラを導入したところもあるがすべて自前」との回答があった。

最後に、議員から「保育園運営の財政状況は」との質問に、保育園連盟から「運営費の8割は人件費、2割で食費・事務費・遊具費などで余裕がない。運営はできているけれどやり方を工夫してなんとかやっているのが現実だ」など問題点が出され、「建て替えのために積み立てをしていたら使えと国は指導する。余っているわけではない」「部活がなくなるから学童保育が増える可能性がある。市へ財政の確保をお願いしたい」「人吉市と周辺自治体の格差が出てきている」など要望や問題が出された。

さらに、高校卒業後2年間の実務を積んで保育士試験を受けるという若い人がいる、地元に残って働きたいという人材もいることを紹介され、閉会した。